

～中学校区の特色を生かした小中一貫教育～

小中一貫教育推進室だより「TSUNAGU」では、子どもたちの様子や学校園の取組みなど、市内における小中一貫教育をはじめとした連続・一貫した教育活動の状況を発信していきます。

孔舎衛中学校区の特色ある取組み

孔舎衛中学校区は、孔舎衛こども園、孔舎衛小学校、孔舎衛東小学校、孔舎衛中学校、そして東大阪市立日新高等学校の5校園から成り立っており、東大阪市で唯一の市立高校が中学校区にあることが大きな特色です。

孔舎衛中学校区は、この特色を生かして、「**自分大好き 仲間大好き くさか大好き みんな大切**」を『めざす子ども像』として、こども園・小学校・中学校・高校の校園種間の取組みを日頃より積極的に行っています。

孔舎衛中学校区の子どもたちに『つきたい力』

本中学校区は自分に自信がなく、自己肯定感が低い子どもが多いことが課題でした。小中一貫教育の実施により、つきたい力の中でも特に「**自己肯定感を育むこと**」を第一目標にかかげ、こども園・小学校・中学校・高校の校園種を越えた異学年交流を通して、褒めてもらう、認めてもらう等の経験を積み重ね、子どもたちの自己肯定感を育てています。

自己肯定感

他者理解

聞く・聴く力

伝える力

自律

規律

“子ども同士のつながりを大切に” つきたい力を育む取組み

1. 園児と中学生の交流

中学3年生がこども園に行き、園児とふれあい交流を実施しました。

ふれあい交流

園児にもきちんと伝わるように優しい言葉で伝えることができました。

お互いに「ありがとう」の想いを言葉で伝えることができました！

園児の目線で話をする優しい友だちの一面を見ることができました！

2. 小学生と高校生の交流

日新高校の生徒が小学校へ行き、英語の授業を通して交流しました。

英語交流

高校生のお兄ちゃんたちが優しく教えてくれたおかげで、苦手だった英語が出来るようになって、自信がついた！

英語を使ってコミュニケーションを取るのには難しかったけど、「ちゃんと伝わったよ」「すごいね」と笑顔で言ってもらえてとてもうれしかった。

3. 小学生と中学生の交流

小学6年生が中学校登校の際に中学3年生と平和交流を実施しました。

- ◆中学3年生より修学旅行の報告をスライドを使いプレゼン
- ◆小学6年生と中学3年生がグループになって平和について協議

平和交流会

6年と3年で交流

平和について考えた意見を中学3年のお兄さん、お姉さんに自分の言葉で伝えることができました！

中学生から「よく勉強したね」とほめられたことがとてもうれしかった。これからも平和について考えていきたいと思いました。

4. 中学生と高校生との交流

中学3年生が日新高校へ行き、先輩から高校生活に関する話を聞いたり、高校の授業を体験したりしました。

日新高校体験入学

9年間頑張ってきたことが高校でも活かされることが分かって、自分がこれまで頑張ってきたことにさらなる自信ができました。

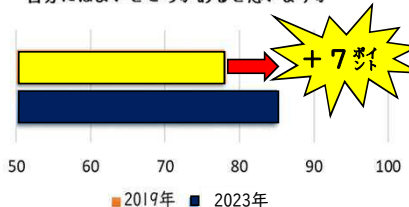
高校の先生や先輩方の話を聞くことができ、自分の将来の進路について、自信をもって進もうと思えるようになりました。

自己肯定感の向上

自己肯定感に係る学びのトライアルアンケートより
《児童生徒対象》

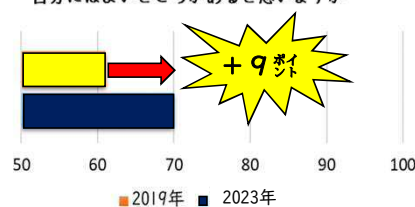
自分にはよいところがあると思いますか

小学生



自分にはよいところがあると思いますか

中学生



「学びのトライアルアンケート」では、自己肯定感に係る項目の**肯定的回答率の増加**が児童生徒ともに見られます。今後も本中学校区の特色を生かし、こども園から高校まで、校園種を越えた異学年との交流を大切にしていきたいと思っています。



意岐部中学校区は、『自分の夢・生き方を創りつづける子』をめざす子ども像とし、「えらぶ」「みぬく」「かんがえる」「やってみよう」「はなしあう」「つながる」「じぶんらしさ」の7つのつきたい力を軸に夢づくり教育に取り組んでいます。子どもたちは、つきたい力を意識しながら、日々学びを進めています。

***意岐部中学校区
学びサポートマスコット『まなベア』**

まなベアは校内に掲示している「7つのつきたい力のポスター」にも掲載するなど、子どもたちにとっても親しみやすいキャラクターです。



9年間でつなぐ夢づくり教育

夢づくり教育（キャリア教育）とは、「自分の生き方を切り拓くために、今まで歩んできた道をふりかえり、次の一步をどの視点に立って踏み出すべきかその選択ができる力をつける」というキャリア教育の観点を全ての教育活動に取り入れ、子どもたちが**自分の夢や生き方を創りつづける力を育むこと**をめざす教育です。

本中学校区では、夢づくり教育での学び（ふりかえりや友だちの感想など）や授業で使った資料を『夢づくりファイル』という1冊のファイルに小学1年から中学3年までまとめる実践を2007年度から行っています。

9年間の『夢づくりファイル』を継続して使用していくことで、子どもたちは学年が変わっても、自分たちの学びや気づきなどをいつでもファイルでふりかえることができます。

今回のTSUNAGUでは、夢づくり教育の中から、9年間の平和学習を通して自分たちの生き方について考えてきた中学3年生の取組みについて紹介します。



子どもたちが使用している「夢づくりファイル」

平和学習をとおして育んだ夢

子どもたちは、小学校から平和に関する聞き取り学習や調べ学習、小学6年のヒロシマへの修学旅行でフィールドワークを行うなど、さまざまな体験や学びを通して、『平和への思い』を仲間とともに話し合いながら『平和と自分たちの夢や生き方』について考えを深めてきました。

中学校でも平和学習を通して、子どもたちは「人には周りの人を思う強さやちがいを認め合える強さ」があること、一人ひとりが持つ「強さ」が平和な世界を築くための大きな力になることに気づき、中学3年のオキナワへの修学旅行を通してさらにその思いを強くしました。



聞き取り学習



修学旅行報告会



6.23 平和集会

子どもたちは、思うだけではなく「自分たちができることをまずはやってみよう」と、平和集会にて自分たちの考えを発信することにしました。

平和集会に向け仲間と話し合う過程で「自分たちが感じたこと、自分たちの生き方を後輩や保護者にも聞いてもらい、その思いをつなげていきたい」と、小学6年～中学2年までの児童・生徒と保護者を平和集会に招待し、これまでの学びや自分たちにできることについて発信しました。

これからも意岐部中学校区では、夢づくり教育で子どもたちに**自分の夢や生き方を創りつづける力を**育んでいきたいと思えます。